

# 地域の「輝く人」紹介

12月中旬「大根掘りに来てくれるんやったら、社協（しゃきょう）にあげたいんやけどなあ。誰かこうへん？」と、一本のお電話をいただきました。いつも季節のお野菜を社協やえんがわ教室の参加者さんに届けてくださるえんがわ教室の参加者の坂本さんです。

折角の楽しいお誘い、職員だけで何ってほもつたないかと「筋力脳力あつぷ教室」参加者の東山さんにお声がけすると、「助けになるなら手伝うよ。」と快く言って頂きました。

当日は、晴天に恵まれ東山さんは歩きながらポンポンとテンポよく約100本余りの大根を抜いていけます。あまり軽快に収穫されたので、坂本さんから「そんなに収穫したら車に載らないよ。」と声をかけて頂くほどでした。

収穫していると、ご近所の方も畑に立ち寄られて「キンカン取るならハサミ持ってくるよ。」と道具を貸して下さったり、収穫もお手伝いくださり、大根の料理や漬物の話など、坂本さん、東山さんと、晴天の中、畑でのサロンがはじまりました。

坂本さんは「毎日畑に出て、野菜を育てて、ご近所や社協の方にもらってもらるのが楽しみなんですよ。夏の水やりや草取り、冬の霜よけなど大変ですが、みんなが喜んでくれると思うと、また頑張っって作ろうと思うんだよね。」と優しくお話しくださいました。

また別の日には「竹の都」さんから大根収穫においでとお誘い頂いたので「筋力脳力あつぷ教室」の女性の参加者の方をお誘いしたところ「身体動かしたかった。」「楽しそう。」「と言って頂き、2名の方と一緒に1月中旬に畑へ伺いました。



大根がなかなか抜けず苦労していると、「竹の都」さんが大根専用の鍬を貸して頂きました。1本抜く度に「この形は、おもしろいね。」「これは大きいよ。」などお二人で楽しくお話ししながら200本近い大根を収穫して頂きました。その中のお一人は「私は縁あって明和町に移り住んで10年ですが、実家は農家です。あまり手伝いはしたことは無いですが懐かしいです。」とお話しされ、「竹の都」さんから「来月は又違う畑の収穫があるから来るといいよ。」と言って下さいました。お二人とも「身体動かすお手伝いなら出来るから、又声かけて欲しい、参加したい。」とおっしゃいます。

「OBENTO PROJECT」活動を通じて、明和町内には畑仕事をしてお野菜を作っている方がたくさんおられ、お手伝いをお願いすると快く協力して下さい方もおられる、これは地域の素晴らしいかだと再発見しました。今後も明和町社協としてはこのような地域の方々の繋がりが広がり、楽しさの中で小さなささえ合いが増えれば・・・と考えております。

今回収穫させて頂いたお野菜は今明和町社協が「みんなの食堂こむすび舎@めいわ町」さんと取り組んでいる「OBENTO PROJECT」活動のお弁当食材として使わせて頂く他、町内の幼稚園様、保育所様、事業所様、行政様にご協力頂いて、大根を引き取って頂いて「OBENTO PROJECT」活動の募金に代えさせて頂きました。お野菜を提供頂いた坂本様、「竹の都」様、収穫活動にご協力いただいた方々、募金にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

今後ともご協力お願い致します。

**地域をもっと良くしたい！そんな活動を展開されていたら、是非取材させてください！**